全国漁業信用基金協会　本所

全国漁業信用基金協会（以下「全国協会」）の本所は、2017年4月、全国19の漁業信用基金協会が合併して誕生しました。さらに2019年には18協会、2020年には青森県協会が加わり、ほぼ全国一円をカバーする、まさに“日本の海を丸ごと面倒みる”存在となりました。その後、滋賀支所と大阪支所が兵庫支所の出張所となり、現在は36支所2出張所となりました。日本各地の港町で働く仲間と緊密な関係を築きながら日々業務を行っています。

1　本所の歴史と「忘れられない」旧オフィス

本所は設立と同時に、JR上野駅から徒歩5分という素晴らしいアクセスに置かれました。周辺は、桜やパンダ（今年１月まで）で知られる上野公園、そして今や多くの外国人観光客で賑わうアメ横もすぐ近く。立地だけ見れば申し分のない環境でした。

ところが、その便利さは駅からの距離で使い切ってしまったのか、事務所そのものはというと、なかなかに“個性派”でした。

日当たりは悪く、どこからか雨が染み込む日もあり、空調は夏も冬も気まぐれ。さらに極めつけは「トイレが事務室の中」という衝撃設計。来客中にそっと席を立ってトイレへ行くたび、ふとした気まずさが流れる、あの独特の空気感は今となっては懐かしい思い出です。

毎年、役職員全員で下谷神社へ参拝していましたが、皆の願いはいつも「今年こそ引越しできますように！」でした。

支所から訪れた人たちにも、「本所さん、そろそろ引っ越しません？」と、やんわり後押しされることが増え、満を持して2024年12月、御徒町の現在地へ移転しました。

新しい本所は、7階建てビルの最上階。日当たり良好、空調快適、そして何よりも「トイレは外」。念願の“普通のオフィス”を手に入れ、職員一同、胸を張ってお客様をお迎えできるようになりました。小さな会議室も併設され、理事会や監事会を外部の会議室を借りずに開催できるようになったのも大きな進歩です。支所から来る人たちの第一声が「いいところに来ましたね！」に変わったのも嬉しい変化です。

都会のオアシス「上野公園」

北の玄関口「上野駅」

買い物天国「アメ横」

2　4人から11人へ。本所の組織づくり奮闘記

設立当初の本所は、理事長（非常勤）、専務理事（常勤）に加え、農林漁業信用基金、一般社団法人漁業信用基金中央会（以下「中央会」という）及び和歌山支所からの出向者とアルバイトを合わせてもわずか4名の職員で、総務、経理、業務のすべてを全員で分担し、昼間はひっきりなしの電話対応、事務仕事は夕方からという、“体力勝負の毎日”でした。

二次合併に対応するため、徐々に職員を採用し、さらに2019年の中央会解散に伴って3名が加わり、体制は大きく強化されました。同年には総務部（総務課・経理課）、資金運用室、企画推進室という形に整い、現在は総務部と業務部の2部5課1室、参事以下総勢11名という、数字だけ見ると立派な本部の姿になりました。

本所の職員は20代から60代まで幅広い年代がそろっていますが、総じて“口より手が動くタイプ”が多く、普段はとても静かな雰囲気です。ところが、各地の支所から“口から先に生まれた”と言われるくらい元気な職員が来ると、一気に空気が変わり、笑い声が絶えない活気あるオフィスへ早変わりします。本所と支所、それぞれの個性がうまく合わさって、組織としての魅力を作っています。

今となっては懐かしい
「旧事務所」

一つ上の（上野）本所となった
「新事務所」

都内最古のお稲荷様「下谷神社」
（ご利益ありました）

3 本所の概要

- 住　　所：東京都台東区東上野１丁目７－１５
  ヒューリック東上野１丁目ビル７階
- 電話番号：０３－５８４６－８４４１
- 理 事 長：武部 勤
- 専務理事：吉井 正行

- 組　　織
  - ・総務部
    - 総務課
    - 経理課
    - 資金運用課
  - ・業務部
    - 企画推進課
    - 業務課
    - 再編準備室

4 全国協会の未来へ

全国協会を取り巻く環境は、漁業者の減少、資材費の高騰、多くの魚種の不漁と、厳しい状況が続いています。会員数や保証残高も減少の一途で、このままの体制では持続が難しいことは否めません。

そのため2030年度を目標に、全国の支所を10支所へ再編する大きな取り組みが進んでいます。北海道を含め、東北、関東、東海、北陸、近畿、中国、山陽・四国、北九州、南九州といったエリアを再整理し、本所の「再編準備室」が中心となって、各ブロックの体制づくりを支援しています。

全国協会は、これからも漁業者の皆さまを支える組織として、より効率的で、より力強い体制を目指し、海の未来に向かって歩み続けます。

武部理事長を囲んで